

山本 隆三 (やまもと りゅうぞう)

常葉大学 名誉教授

NPO 法人国際環境経済研究所副理事長兼所長



香川県生まれ。京都大学工学部卒、住友商事入社。石炭部副部長、地球環境部長などを経て、2008年、プール学院大学（現桃山学院教育大学）国際文化学部教授に。2010年富士常葉大学（現常葉大学）経営学部教授。2021年常葉大学名誉教授。財務省財務総合政策研究所「環境問題と経済・財政の対応に関する研究会」、産業技術総合研究所「ベンチャー評価委員会」、経済産業省「産業構造審議会環境部会 地球環境小委員会 政策手法ワーキンググループ」委員、国連気候変動に関する政府間パネル（IPCC）第5次評価レポート査読者などを歴任。現在、経済産業省「JCM実現可能性調査（FS）採択審査委員会」委員、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構「二国間クレジット制度（JCM）等を活用した低炭素技術普及促進事業審査委員会」委員・技術委員、静岡県「ふじの国未来のエネルギー推進会議」委員、日本商工会議所及び東京商工会議所「エネルギー環境委員会」学識委員、アジア太平洋研究所「エネルギーシステム研究会」委員、電気協会「これからのエネルギー委員会」委員、NPO 法人国際環境経済研究所副理事長兼所長などをつとめている。月刊誌「エネルギーレビュー」、「Wedge/Online」、旬間「EP レポート」での連載、また報道番組、書籍を通じ、エネルギー・環境政策に関する言論活動も活発に行っている。著書は『企業の意思決定のためのやさしい数学』（講談社プラスアルファ新書）、『図解外国企業・海外事業の仕組みと常識』（講談社プラスアルファ新書）『温暖化対策と経済成長の制度設計』（共著、頸草書房）、『経済学は温暖化を解決できるか』（平凡社新書）、『夢で語るな、日本のエネルギー』（共著、マネジメント社）、『脱原発は可能か』（エネルギーフォーラム新書）、『いま「原発」「復興」とどう向き合えばいいのか』（共著、PHP 研究所）、『激論&直言日本のエネルギー』（共著、日経 BP 社）” Environmental Policies in Asian Countries”（共著、World Scientific 社）『電力不足が招く成長の限界』（エネルギーフォーラム）、『SDGs の不都合な真実』（共著、宝島社）、『間違いだらけのエネルギー問題』（Wedge 社）、『メガソーラが日本を救うの大嘘』（共著、宝島社）。

以上